

近畿支部からの便り

長引くコロナ禍で中止が続いていた近畿支部総会が、会員アンケート結果等を踏まえ開催することとなり、第10回総会を令和4年12月9日に大阪ガス本社ビルにおいて、位田高典京都大学大学院経済学研究科長・経済学部部長を始め大学からの来賓や名誉教授の先生方にも



樋野支部長

参加いただき、3年ぶりに開催することとなり、第10回総会を令和4年12月9日に大阪ガス本社ビルにおいて、位田高典京都大学大学院経済学研究科長・経済学部部長を始め大学からの来賓や名誉教授の先生方にも



近畿支部 支部長挨拶
支部長 樋野 吉郎

ことができました。

総会では、はじめに樋野吉郎支部長の挨拶があり、来賓紹介



位田理事長

の後、来賓の皆さんを代表して位田先生から祝辞をいただきました。議事に移り、樋野支部長から昨年度の活動報告・会計報告、支部役員の異動と新役員の紹介、総会開催に至るアンケートの実施結果についての報告がありました。この中で今後WEBを活用した総会のハイブリッド開催についての提案もありました。また岡敏弘経済学部同窓会常務理事から同窓会本部の活動状況についてのご紹介があり、総会は滞りなく終了しました。



岡教授

続きまして、京都大学大学院経済学研究科の岡敏弘教授から「成長しなくてもよい経済についての学説」をテーマに御講演をいただきました。失われた10年といわれたように最初から長期停滞といわれていること、その原因が必要不足なのか供給側の生産力向上の低迷なのか論争されたが、金融政策も財政価格も日本では拡大したものの効果がなかったこと、供給側の人口要因が必要に影響し需要不足による過少投

資が将来の供給力に影響するというように相互に影響するという認識から構造改革論議が出てきたこと、しかし構造改革で実際に行えることは、等々について内外の経済学者の学説を解説しながらお話をいただきました。混迷の時代において経済学の果たすべき役割が改めて問われているという認識を新たにしました。

この後、懇親会をガスビル食堂で開催しました。コロナ禍で参加者が少なかったため、特別室において全員着席でのコース料理となりました。ガス食堂名物？生セロリのサラダを始め美味しい料理を堪能しながら、来賓の名誉教授も交え、年齢を超えて各々の近況報告等を中心に和気あ



懇親会

いあい語り合うことができました。また令和5年度には、コロナの様子を見ながらも講演会や総会（11月24日）を開催することを確認し、再会を誓っての閉会となりました。

京都大学経済学部同窓会近畿支部 令和4年度（2022年度）近畿支部収支決算書

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
支部助成金	500,000	総会開催費	30,000
預金利息	7	HP維持費	14,520
		振込手数料	660
(小計(2022年度収入額))	500,007	(小計(2022年度支出額))	45,180
前年度繰越金	680,575	剰余金(次年度繰越金)	1,135,402
合計	1,180,582	合計	1,180,582

支部助成金：500,000円
総会開催費：30,000円
HP維持費用(株)割入宛て：14,520円
振込手数料：2件 660円

財産目録

種類	預入先	金額	摘要
普通預金	三井住友銀行大阪本店営業部	1,118,084	
	現金	17,318	
合計		1,135,402	

京都大学経済学部同窓会
近畿支部長 樋野 吉郎 殿

令和4年度（2022年度）支部会計監査報告

収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和5年4月4日

京都大学経済学部同窓会近畿支部

会計監事

林 信

令和5年4月7日

会計監事

内田 博司